１２　大学・大学院

[Ⅰ-12-1表] 　　主要指標の推移



（１）学校数

ア　学校数は55校で、前年度と同数である。

イ　設置者別では、国立2校(構成比3.6％)、公立2校(同3.6％)、私立51校(同92.7％)である。

ウ　都道府県別では、東京都138校、大阪府55校、愛知県51校の順である。

[Ⅰ-12-1表・付表-5]

（２）学生数

ア　学生数は240,049人で、前年度より3,127人(対前年度1.3％)増加している。

イ　設置者別では、国立29,126人(構成比12.1％)、公立16,138人(同6.7％)、私立194,785人(同81.1％)である。

ウ　男女別では、男子147,314人(構成比61.4％)、女子92,735人(同38.6％)で、前年度より男子は1,002人増加、女子は2,125人増加している。

エ　昼夜別では、昼間237,491人(構成比98.9％)、夜間2,558人(同1.1％)である。

オ　学生数の内訳は、学部218,879人(構成比91.2％)、大学院17,613人(同7.3％)、専攻科157人(同0.1％)、別科559人(同0.2％)、その他(科目等履修生・聴講生・研究生)2,841人(同1.2％)である。

カ　都道府県別では、東京都754,388人、大阪府240,049人、神奈川県193,485人の順である。

[Ⅰ-12-1表・付表-5・統計表53・56]

（３）学部学生数

ア　学生数のうち学部学生数は218,879人で、前年度より3,055人(対前年度1.4％)増加している。

イ　設置者別では、国立19,509人(構成比8.9％)、公立12,423人(同5.7％)、私立186,947人(同85.4％)である。

ウ　男女別では、男子133,121人(構成比60.8％)、女子85,758人(同39.2％)で、前年度より男子は938人増加、女子は2,117人増加している。

エ　昼夜別では、昼間217,300人(構成比99.3％)、夜間1,579人(同0.7％)である。

オ　関係分野別では、社会科学関係80,436人(構成比36.7％)、人文科学関係31,493人(同14.4％)、工学関係28,941人(同13.2％)の順である。

[Ⅰ-12-2表・Ⅰ-12-1図・統計表56]

[Ⅰ-12-2表] 　 関係分野別学部学生数



[Ⅰ-12-1図] 　　　　関係分野別学部学生数の割合



[Ⅰ-12-2図]　女子学生の占める割合

（４）入学状況

ア　入学者数は54,891人で、前年度より1,537人(対前年度2.9％)増加している。そのうち18歳の入学者数は、43,588人(構成比79.4％)である。

イ　男女別では、男子32,814人(構成比59.8％)、女子22,077人(同40.2％)で、前年度より男子は693人増加、女子は844人増加している。

ウ　入学者を出身高等学校の所在地別にみると、近畿地方出身者は44,630人(構成比81.3％)である。そのうち、大阪府内高等学校出身者は27,029人で、全入学者に占める割合は49.2％である。 [Ⅰ-12-3表・統計表58]

[Ⅰ-12-3表] 出身高校の所在地別入学者数と大阪府内高校卒業者の大学所在地別入学者数



（５）大学院の学校数

ア　学校数は44校で、前年度より1校（対前年度△2.2％）減少している。

イ　設置者別では、国立3校(構成比6.8％)、公立2校(同4.5％)、私立39校(同88.6％)である。 [統計表54]

（６）大学院学生数

ア　大学院学生数は17,613人で、前年度より24人(対前年度△0.1％)減少している。

イ　設置者別では、国立8,424人(構成比47.8％)、公立3,498人(同19.9％)、私立5,691人(同32.3％)である。

ウ　男女別では、男子12,341人(構成比70.1％)、女子5,272人(同29.9％)で、前年度より男子は28人減少、女子は4人増加している。

エ　昼夜別では、昼間16,925人(構成比96.1％)、夜間688人(同3.9％)である。

オ　課程別では、修士課程11,081人(構成比62.9％)、博士課程5,180人(同29.4％)、専門職学位課程1,352人(同7.7％)である。

カ　関係分野別では、工学関係6,118人(構成比34.7％)が最も多く、次いで社会科学関係2,925人(同16.6％)、保健関係2,769人(同15.7％)の順である。

[Ⅰ-12-1表・Ⅰ-12-4表・統計表53・56・60]

[Ⅰ-12-4表] 　 　　専攻分野別大学院学生数



（７）教員数（本務者）

ア　教員数(本務者)は13,391人(うち、学長53人、副学長88人)で、前年度より133人(対前年度1.0％)増加している。このうち外国人教員数(学長・副学長を除く)は、619人(構成比4.6％)である。

イ　設置者別では、国立3,504人(構成比26.2％)、公立1,353人(同10.1％)、私立8,534人(同63.7％)である。

ウ　男女別では、男性10,435人(構成比77.9％)、女性2,956人(同22.1％)で、前年度より男性は1人増加、女性は132人増加している。

[Ⅰ-12-1表・統計表61・62]

（８）教員数（兼務者）

ア　教員数(兼務者)は14,490人で、前年度より169人(対前年度1.2％)増加している。このうち外国人教員数は1,066人(構成比7.4％)である。

イ　設置者別では、国立1,273人(構成比8.8％)、公立1,115人(同7.7％)、私立12,102人(同83.5％)である。

[統計表61]

１３　短期大学

[Ⅰ-13-1表] 　　主要指標の推移



（１）学校数

ア　学校数は25校（私立25校）で、前年度と同数である。

イ　都道府県別では、東京都38校、大阪府25校、愛知県22校の順である。

[Ⅰ-13-1表・付表-5]

（２）学生数

ア　学生数は11,169人で、前年度より279人(対前年度△2.4％)減少している。

イ　男女別では、男子876人(構成比7.8％)、女子10,293人(同92.2％)で、前年度より男子は42人減少、女子は237人減少している。

ウ　昼夜別では、昼間10,958人(構成比98.1％)、夜間211人(同1.9％)である。

エ　学生数の内訳は、本科10,804人(構成比96.7％)、専攻科49人(同0.4％)、別科38人(同0.3％)、その他(科目等履修生・聴講生・研究生)278人(同2.5％)である。

オ　都道府県別では、東京都14,245人、大阪府11,169人、愛知県8,094人の順である。

[Ⅰ-13-1表・統計表63・66・付表-5]

（３）本科学生数

ア　学生数のうち、本科学生数は10,804人で、前年度より230人(対前年度△2.1％)減少している。

イ　男女別では、男子844人(構成比7.8％)、女子9,960人(同92.2％)で、前年度より男子は15人減少、女子は215人減少している。

ウ　昼夜別では、昼間10,594人(構成比98.1％)、夜間210人(同1.9％)である。

エ　関係分野別では、教育関係3,614人(構成比33.5％)が最も多く、次いで人文関係2,243人(同20.8％)、家政関係1,868人(同17.3％)の順である。

[Ⅰ-13-1表・Ⅰ-13-2表・統計表66・Ⅰ-13-1図]

[Ⅰ-13-1図] 　　関係分野別本科学生数の比率



[Ⅰ-13-2表] 　　関係分野別本科学生数



（４）本科学生の入学状況

ア　入学者数は5,242人で、前年度より10人(対前年度△0.2％)減少している。年齢別では18歳が最も多く、4,628人(構成比88.3％)である。

イ　男女別では、男子383人(構成比7.3％)、女子4,859人(同92.7％)で、前年度より男子は35人減少、女子は25人増加している。

ウ　入学者を出身高等学校の所在地別にみると、近畿地方出身者は4,782人(構成比91.2％)である。そのうち大阪府内高等学校出身者は3,555人で、全入学者に占める割合は67.8％である。

　　[Ⅰ-13-3表・統計表68]

[Ⅰ-13-3表]　出身高校の所在地別入学者数と大阪府内高校卒業者の短期大学所在地別入学者数



（５）教員数（本務者）

ア　教員数(本務者)は613人（うち学長13人、副学長8人）で、前年度より30人（対前年度

△4.7％)減少している。そのうち外国人教員数(学長・副学長を除く)は、18人(構成比2.9％)である。

イ　男女別では、男性287人(構成比46.8％)、女性326人(同53.2％)で、前年度より男性は24人減少、女性は6人減少している。

　[統計表70・71]

（６）教員数(兼務者)

教員数(兼務者)は1,618人で、前年度より33人(対前年度△2.0％)減少している。そのうち外国人教員数は、76人(構成比4.7％)である。

[統計表70]

１４　大学・大学院・短期大学の通信教育

[Ⅰ-14-1表] 　　主要指標の推移



（１）学校数

通信による教育を実施している学校は5校(通信制の学部を置く大学3校、短期大学2校)で、前年度と同数である。

　なお、全国で通信教育を実施している学校の実数は、64校（大学44校、大学院27校、短期大学11校で、うち大学と大学院の両方で通信教育を行う大学は18校）である。

[Ⅰ-14-1表]

（２）学生数

ア　学生数は9,189人（大学5,651人、短期大学3,538人）で、前年度より541人（対前年度6.3％)増加している。

イ　学生のうち、正規の課程の学生は4,898人(大学2,168人、短期大学2,730人)、科目等履修生・聴講生は4,269人(大学3,464人、短期大学805人)で、前年度より正規の課程の学生は167人増加（大学27人減少、短期大学194人増加）し、科目等履修生・聴講生は368名増加（大学357人増加、短期大学11人増加）している。

ウ　男女別では、男子2,900人(構成比31.6％)、女子6,289人(同68.4％)で、前年度より男子は81人増加し、女子は460人増加している。

エ　正規の課程の学生の職業別では、無職2,956人(構成比60.4％)が最も多く、次いで会社(商店)員・銀行員等982人(同20.0％)、その他478人（同9.8％）の順である。

オ　正規の課程の学生の年齢別では、18歳～22歳が1,775人(構成比36.2％)、23歳～24歳が290人(同5.9％)、25歳～29歳が563人(同11.5％)、30歳～39歳が758人(同15.5％)、40歳～49歳が799人(同16.3％）、50歳～59歳が440人(同9.0％)、60歳以上が273人(同5.6％)である。

[Ⅰ-14-1表・統計表72・73・74]

１５　高等専門学校

[Ⅰ-15-1表] 　　主要指標の推移



（１）学校数

学校数は1校(公立)で、前年度と同数である。

[Ⅰ-15-1表]

（２）学生数

ア　学生数は849人で、前年度より3人(対前年度△0.4％)減少している。

イ　学生のうち本科学生は802人、専攻科、科目等履修生・聴講生は47人で、前年度より本科学生は5人増加し、専攻科、科目等履修生・聴講生は8人減少している。

ウ　男女別では、男子753人(構成比88.7％)、女子96人(同11.3％)で、前年度より男子は2人増加し、女子は5人減少している。

エ　教員（本務者）１人当たりの学生数は12.1人で、前年度より0.2人減少している。

[Ⅰ-15-1表・統計表76]

（３）教員数（本務者）

教員数は70人で、前年度より1人(対前年度1.4％)増加している。

[Ⅰ-15-1表]

１６　留学生

[Ⅰ-16-1表] 　　主要指標の推移



（１）留学生数

ア　留学生数は8,546人で前年度より390人（対前年度4.8％）増加している。

イ　留学生の内訳は、大学5,679人（構成比66.5％）、大学院2,835人（同33.2％）、短期大

学32人（同0.4％）である。

ウ　費用別では、国費留学生728人（構成比8.5％）、私費留学生7,818人（同91.5％）である。

エ　男女別では、男子4,184人（構成比49.0％）、女子4,362人（同51.0％）である。

[Ⅰ-16-1表]

（２）国籍別留学生数

ア　国籍別では、中国5,084人（構成比59.5％）が最も多く、次いでベトナム706人（同

8.3％）、韓国・朝鮮661人（同7.7％）の順である。

イ　地域別では、東南アジア地域7,395人（構成比86.5％）が最も多く、次いで西ヨーロッパ地域291人（同3.4％）、北米地域280人（同3.3％）の順である。

[Ⅰ-16-2表・Ⅰ-16-1図・統計表78]

[Ⅰ-16-2表] 　　国籍別留学生数



[Ⅰ-16-1図] 　国籍別留学生数の割合



（３）専攻分野別学生数

ア　専攻分野別では、社会科学関係3,760人（構成比44.0％）が最も多く、次いで人文科学関係1,997人（同23.4％）、工学関係1,139人（同13.3％）の順である。

イ　前年度と比べると、社会科学、人文科学、医・歯学の分野で増加している。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　[Ⅰ-16-3表・Ⅰ-16-2図]

[Ⅰ-16-3表] 　　専攻分野別留学生数



[Ⅰ-16-2図] 　　専攻分野別留学生数の割合

